



碧南ロータリークラブ週報

第2377回例会 平成19年9月19日(水)

● 会長 鈴木 敏弘 ● 幹事 石橋 嘉彦 ● 会場監督 新美 宗和 (SAA)

■ 例会日 毎週水曜日 12:30

■ 例会場 碧南商工会議所ホール

■ 事務局 碧南商工会議所内

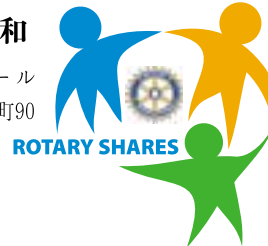
〒447-8501 愛知県碧南市源氏神明町90

TEL<0566>41-1100 FAX<0566>48-1100

ホームページ: <http://www.hekinan-rc.jp/>

E-mail: info@hekinan-rc.jp

■ 会報委員 新美 惣英・長田 和徳・平岩 辰之・杉田 茂



2007~2008年度
国際ロータリーのテーマ

**ロータリーは
分かち合いの心**

● 斉 唱

ロータリーソング 「今日も楽し」

● 本日のメニュー

和風弁当 大正館

● 本日のお客様

第2760地区 パストガバナー 半 田RC 松本 宏氏
半 田RC 神戸 信寅君
名古屋とRC 斉藤 捷昭君



鈴木敏弘会長

会 長 挨拶

9月半ばを過ぎましたが、大変残暑の厳しい日が毎日続いております。夏バテが来る時期でございます。どうぞ皆さん、身体に気を付けて、ご慈愛して頂くようお願い申し上げます。

私自身、チョット油断をしたのか、そんなつもりはないのですが、いつも緊張をしているわけですが、それでも風邪を引きまして、チョット今日はボーっとしているのが現状でございます。

先々週の9月8日(土)に平成19年度ふれあいスポーツ大会の開催の案内があり、出席させて頂きました。

この内容をご存じの方もたと存じますが、社会福祉協議会の活動の中で、肢体不自由児、身体障害者等々の方のレクリエーションスポーツ大会であります。

多くのボランティアの方、そして父母の会の手助けを受け、楽しい一時を過ごされました。自分自身好きでなった訳でもなく、それでもみなさんは元気に楽しく競争しておられ、ボランティアの方、ご父兄の皆様の献身的な手助けと思いに頭の下がる思いでいっぱいでした。

碧南ロータリークラブより、毎年助成金をお贈りしております、“あおみJセンター”の皆様も参加しておられました。御報告申し上げます。

次に先週に引き続きまして、アメリカの国の合理性について、私の知人よりお聞きしています事を御紹介致します。

最近パソコンなどの電子機器の普及でめっきり辞書など活用する機会が少なくなってきました。日本では、“あいうえお”順で、英和辞典では、ABCの順で決っております。

ところで、国の印刷物などで、例えば日本の地図は北の北海道が一番はじめに載っているのが殆んどであります。

何でもABC順、これがアメリカです。州名もすべてABC順で記載されております。

一番初めは、①アラバマ州 (ALABAMA) ②アラスカ州 (ALASKA) ③アリゾナ州 (ARIZ)

ONA)と言った具合です。

いつも最後は、ワイオミング州 (WYOMING)です。大都市のホテルやレストランなども地図で所在地を探し出す時なども索引がABC順で記載されており、大変探し易いと感じました。

例えば、ニューヨークのホテル名にて所在地を探す場合、ホテル名がABC順に一覧表があり、A-1とかC-4と記号が印してありますので、合理的です。

一般的な地図、道路地図、飛行機などの時刻表もABC順です。電話帳もちろんです。

このようにアメリカと言う国は何と色々合理的に富んだ流石世界の代表だと思えます。

以上、そんな話を聞いております。

今日も、どうぞよろしくお願い致します。

幹事報告

他クラブの例会変更等は幹事報告書の通りです。

- ・ガバナー公式訪問とインフォーマル・ミーティングの案内と出欠表をメールボックスに入れておきました。
- ・10月度第4回理事会のご案内を役員・理事さんのメールボックスに入れてあります。
- ・第3回ナゴヤ運動会開催の案内が地区国際奉仕委員会より届いておりますので、メールボックスに入れさせ頂きました。
- ・次週9月26日(水)は職場例会です。
丸栄陶業(株)本社事務所にてPM12:30より開催します。
- ・本日例会終了後、201号室にて、50周年実行委員会 正副委員長会議を開催します。



石橋嘉彦幹事

委員会報告

〈出席奨励委員会〉

総会員数 80名 (内出席免除者 12名) 出席者 69名	
出席対象者 60/68名	出席率 88.24%
欠席者11名(病欠者0名)	前々回修正出席率 100%

〈ニコボックス委員会〉

※三週連続出席率100%の場合は記念品を差し上げます。

鈴木 敏弘君 松本パストガバナー様ご来碧有難うございます。今日はよろしくお願い致します。

縦山 善久君 来週は職場例会となり、当社がお受けする事となりました。参考になるかどうか、心より歓迎申し上げます。

池田 弘孝君 ロータリークラブゴルフコンペの9月度で運良く優勝させて頂きました。

石川 春久君 名古屋みなとロータリークラブ齊藤捷昭さん、ようこそ!

山中 寛紀君 誠に僭越ではございますが本日の講師パストガバナー松本宏先生のご紹介をさせて頂きます。

卓話講師松本パストガバナー様より卓話のお礼をニコボックスに頂きました。

卓話

「新世代の健全育成を願って」

第2760地区 パストガバナー半田R.C 松本 宏氏

皆さんこんにちは、ただ今、ご紹介頂きました松本でございます。山中先生からのご依頼がございまして、本日、卓話を担当させて頂くことになりました。

当2760地区新世代委員会活動は、インターアクト・ローターアクト



ト・ライラと非常に幅広い活動がなされておりまして、その活動に心から敬意と感謝を申し上げる次第でございます。

ただ今も、御紹介頂きましたように、私 地区協議会では毎年、新世代分科会のアドバイザーを勤めさせて頂いております。又、小児科の医者でございますし、長年教育行政に携わって参りましたので、これを踏まえまして本日は、教育問題を取り上げて、皆様方に私の考えを述べさせて頂きたいと思っております。

21世紀を担う青少年を健全に育成することは、我々ロータリアンにとりましても、大きな課題であります。わが国の青少年をめぐる問題の現状を見ますと、家庭や地域社会など青少年を取り巻く環境は、物質的な豊かさと最近の電子メディアの想像もつかない速度での進歩などにより、多くの青少年に、思いやりや心の豊かさの欠如が生じています。その結果として青少年の非行、犯罪の増加は、極めて憂慮すべき状態にあります。このような現象は、成人社会の乱れに起因している面もあり、その是正が望まれます。ここで今日は「新世代の健全育成を願って」という題での話の中で、お手元の子供の発達過程の表を御覧になりながら、お聞き下さい。子供はこのような経過をたどり成長していきます。

青少年の健全育成のスタートは、出生直後からの、正しい育児から始まります。好ましい母子相互作用による母と子の絆を、しっかりと形成して、その後の自発性と共感性の発達が、極めて重要な要素となります。その支援が大切であります。

子ども達のメディア漬けにより、電子映像メディア接触の「早期化」「長時間化」は、憂慮すべき状態にあります。現実、子ども期に、電子機具に向かい合っ、バーチャルな世界を現実の世界と混同し区別がつきにくくなっている。人間としての心と、からだ、そして赤ん坊の時よりテレビを切って親と子のやりとりの中で母と子のコミュニケーション能力を育成することが重要であり、親は正しい知識のもとに、子どもを指導しなければなりません。日本の子ども達が身体も心も人間になるためには、その発達を保障する具体的な場所と時間を確保してあげることが不可欠だと思います。現在メディア漬けになっている子ども達をいかに上手に教育して行くことを我々ロータリアンも、この新しい問題を認識して、対応することが求められます。

次に、1996～97年度の私のガバナー年度であります。ルイス・ジアIRI会長は、それまでの「青少年への奉仕」を、「新世代のためのロータリー・プログラム」と改正して、地域の新世代を集めて、ロータリアンと一堂に会し、新世代の希望、抱負を聞き、その実現に努力しようと我々ロータリアンに求めてこられた。そして、新世代の基本的ニーズを支援するプログラムに着手することを奨励されました。新世代会議も、その時に発足したもので、大きな成果を挙げることが出来たと思っております。

当時、ジアIRIは新世代の希望、夢を実現させるため新世代と我々ロータリアンとお互いに一緒に考えよう、共有しようという意味でシェアしようと言ってくれた思いが、ちょうど今年度のRIのテーマ「ロータリー・シェアーズ」となっております。

さて、教育問題は、ガバナー会でも取り上げてきましたが、教育現場では、色々な問題がありまして、「6.3.3制」「週5日制」「ゆとり教育」等、どれを取っても理想的な項目であります。理想通り行われてなく、学力の低下が起っています。

中国、インドは、英才教育。日本は一時、点をつけず、競争させない徹底した平等教育により、学力面は非常に低下し、世界のトップクラスにいた日本の頭脳が最近二流に成り下がってきたのが現実であります。

ロータリー研究会の提言の中で、今まで識字率の向上を取り上げております。これは、発展途上国の子どもや女子の識字率を高めることにより、衛生状態の改善等、色々な面に役立つ識字率の向上活動は結構なことですが、しかし、日本の現在の教育は良いのか、子ども、赤ん坊からの

教育がいかに大事かよく認識していないといけない。

次に、皆さん方に御協力を頂いている、ロータリアンの職場に中高生を受け入れて頂き職場体験をさせるだけでなく、後程ロータリアンと一緒に例会場等で、体験談発表をしてアドバイスを
する会を持って頂きたい。この活動に当り、教育委員会と協議して頂き、若者の希望をよく聞き、
我々がシェアしあうということが大事であると思います。そこで、1997年に教育問題について、
2660地区(大阪府北部) 教育問題特別委員会は、4年間にわたり検討を重ねて、「21世紀教育改革
への提言」心豊かな社会における人間教育の探求を発表されました。その内容は①人間教育の重
視、②豊かな社会における教育のあり方を問う、③学校教育改革への提言、④ロータリアンの立
場から、となっています。この提言の内容はすばらしいものであり、我々が取り組もうとしてい
る教育問題の指針として、大変参考になると思います。

現在の青少年のおかれている立場を見てみますと非常に憂慮する事態であります。

次世代を担う青少年の健全育成に向けて、我々ロータリアンは、英知を結集してその推進に積
極的に、参加されますことを期待いたします。

本日は、ご清聴ありがとうございました。

次回例会案内 平成19年10月3日(水)

「ガバナー補佐訪問」

ガバナー補 佐 金子 利夫氏

ガバナー補佐幹事 杉浦 知博氏

地区副幹事 松尾憲二郎氏